

生活リズム・放射線被害を考える

1月18日、小中合同の学校保健委員会が、小学校図書室で行われました。

情報交換では、小・中学生の生活リズムにかかわるデータが示され、それを基にどのように生活リズムを作っていくかが話題となりました。

講話では鹿島診療所長から「放射線」に関する話がありました。正しい知識を持ち、冷静に対応することの大切さを学びました。



【中川養護教諭の話】

成長ホルモンの最大分泌時間は、真夜中。12時までには就寝させましょう。

We need to choose the news.②



【知念所長の講話】

食の大切さを再認識

栄養講話



【スライドを使っでの説明】

地産地消を推進している様子を、グラフを使って説明していただきました。

The parents learned of school lunch with the students.①



【保護者の方も参加】

1月24日、音楽室で栄養指導が行われました。講師には下甌給食センターの永田栄養教諭をお招きしました。

この24日から学校給食週間だったことを受け、学校給食の歴史から、食材の調達や栄養の摂取の仕方など、さまざまな観点から給食やバランスのよい食事についての話がありました。



保護者の方も，生徒と一緒に給食について学びました。

私たちは，情報を選ぶ必要があります。